

# タンパク質の処方検討を優位に進める サービス・ツールの最前線

第26回日本蛋白質科学会 ランチョンセミナー  
共催: (株)ユー・メディコ / アンチェインドラブズ(株)

■日時: 6月17日(水) 11:25 - 12:15 ■会場: D会場(第2会議室)

## 第1部: ユー・メディコにおけるバイオ医薬品の分析・処方検討支援

(株)ユー・メディコ 分析事業本部 リサーチフェロー 野田 勝紀

株式会社ユー・メディコは、バイオ医薬品および遺伝子治療薬を対象に、特性解析、品質分析、製剤処方開発、プロセス開発支援を提供するCROです。抗体医薬品、組換えタンパク質、ADC、AAVベクターなどに対し、凝集体評価、相互作用解析、構造解析、安定性評価を組み合わせ、開発段階から品質管理・規制対応を見据えた分析支援を行っています。

バイオ医薬品の処方検討では、**安定性、凝集傾向、粒子形成、溶液物性、界面ストレスへの応答**などを早期に把握し、pH、塩濃度、糖類、界面活性剤、緩衝剤種などの条件を効率的に比較することが重要です。また、候補溶媒への迅速かつ再現性の高い溶媒交換は、安定性評価や物性評価の信頼性に直接影響します。本講演では、ユー・メディコにおける**処方検討支援の考え方**や**分析事例**を紹介し、**ハイスループットな評価と溶媒交換技術の重要性**について概説します。

## 第2部: アンチェインドラブズ(株)のタンパク質/抗体開発ソリューション

アンチェインドラブズ(株) フィールドアプリケーションサイエンティスト 岩崎 琢磨

タンパク質/抗体製剤開発には様々な評価が必要で、これには多くの手間がかかり、また大量のサンプルを消費します。弊社では、96ウェルプレートフォーマットにて数μLで分析でき、かつ自動化可能な定量装置 Stunner/Lunaticと安定性評価装置 Aunty、またメンテナンス不要で高速な微量粘度計 Honeybun、さらにはユー・メディコ様はじめ多くのユーザーから好評いただいている全自動バッファー交換装置 Unagiをラインナップしており、これらによる簡単に開発時の評価が行えることをご紹介します。



### Unchained Labs

東京都千代田区神田須田町 2-9-2 PMO神田岩本町 3F

Phone: 03-3526-2811

Email: unchained.labsjp@unchainedlabs.com

### 株式会社ユー・メディコ

大阪府箕面市船場西2丁目1番1号 エリモビル7F

Phone: 06-6155-7835

Email: info@u-medico.co.jp

Website: www.u-medico.co.jp